

STAR

縦置き装置

取 扱 説 明 書

製品コード
型

式

K49496
ASP1000

部品ご注文の際は、ネームプレートをお確かめの上、
部品供給型式を必ずご連絡下さい。

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIアグリテック

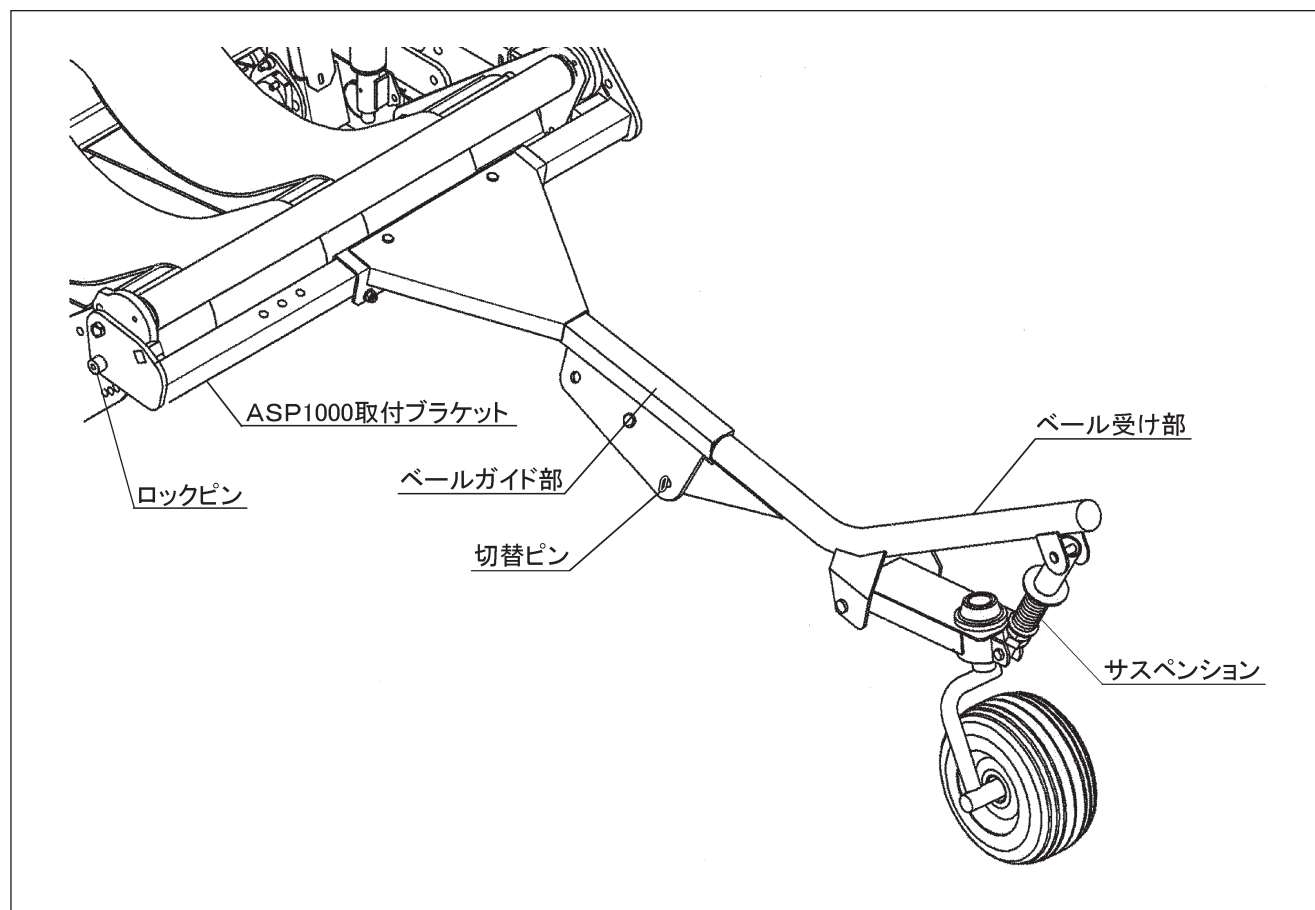
も く じ

1	作業機への装着	
	1 各部の名称とはたらき	2
	1. ASP1000取付ブラケット	2
	2. ベールガイド部	2
	3. サスペンション部	2
	4. ベール受け部	2
	5. ロックピン	2
	6. 切替えピン	2
	2 組立部品	3
	1. 解梱	3
	2. 組立部品の明細	3
	3. 組立要領	3
	3 給油箇所	4
2	作業の仕方	
	1 本製品の使用目的	5
	2 作業のための調整	5
	1. ベールガイドの調整	5
	2. サスペンションの調整	5
	3 作業状態・運搬状態の切替	6
	1. 移動状態から作業状態への切替	6
	2. 作業状態から移動状態への切替	8
3	点検と整備について	
	1 点検整備一覧表	10
	2 主要消耗品一覧表	10

1 作業機への装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



1. ASP1000取付ブラケット

TBW22とASP1000（縦置き装置アタッチ）を連結させる部品です。

取付には、付属のボルト類を使用します。

2. ボールガイド部

放出されたボールを、ボール受け部まで運ぶ部分です。

縦置きする方向を左右に調整することが出来ます。また、ボールが縦に反転し易いように調整することが出来ます。

3. サスペンション部

放出されたボールの衝撃をやわらげると共に、ボールを縦に反転し易いように補助する部分です。

4. ボール受け部

ボールが縦に反転し易いように補助する部分です。

5. ロックピン

移動姿勢時にASP1000が倒れるのを防止するピンです。

6. 切替えピン

移動姿勢と作業姿勢を切替えるピンです。

2 組立部品

1. 解梱

枠に固定している部品をほどいてください。

2. 組立部品の明細

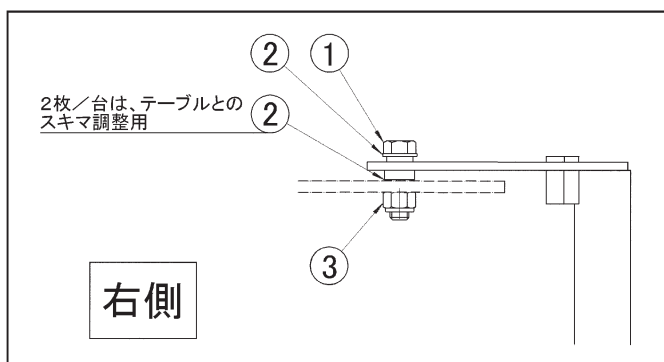
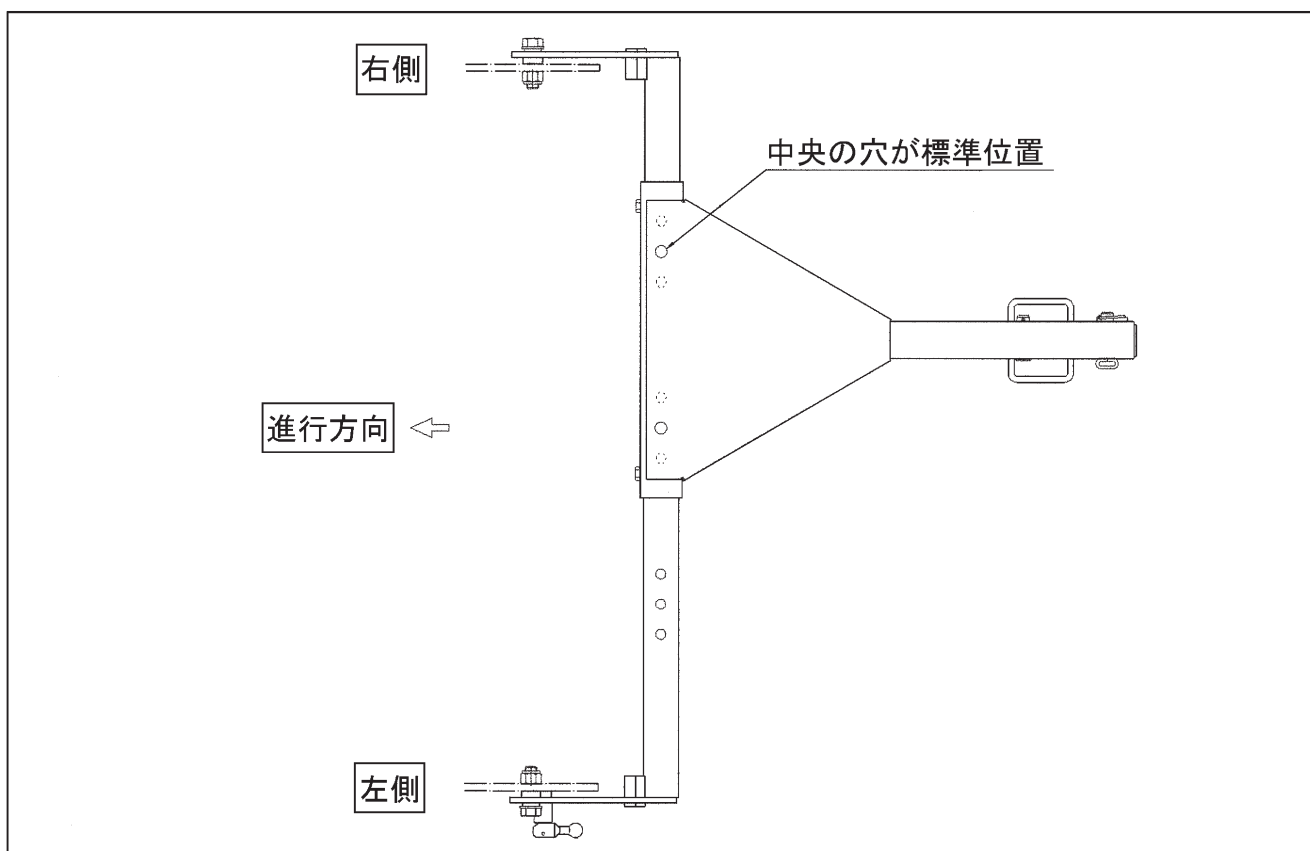
梱包に同梱されている梱包明細にもとづき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組立要領

組立時はT BW 2 2 本体のテーブルを下げた状態で組立ててください。

各部の標準組立位置及び寸法は下図の通りです。

<ASP1000標準組立位置>

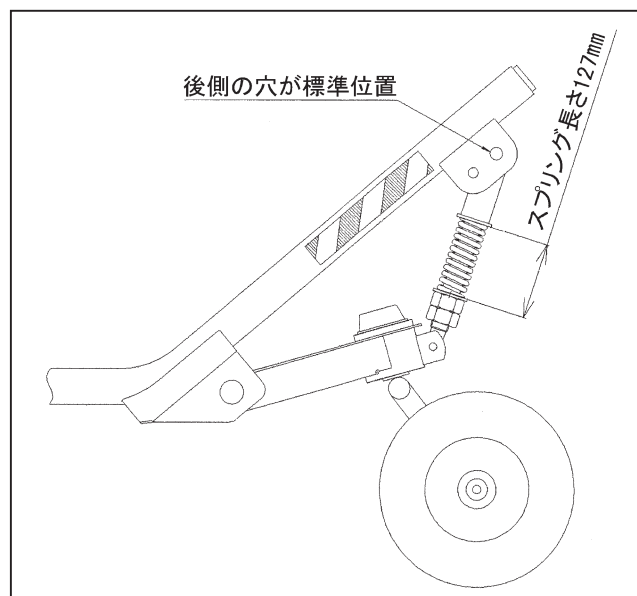


取付用部品

符号	部品名称	使用個数
①	ボルト M20 × 70	2 ヶ／台
②	ヒラザガネ M20	2 ヶ／台
③	ナイロンナット M20	2 ヶ／台

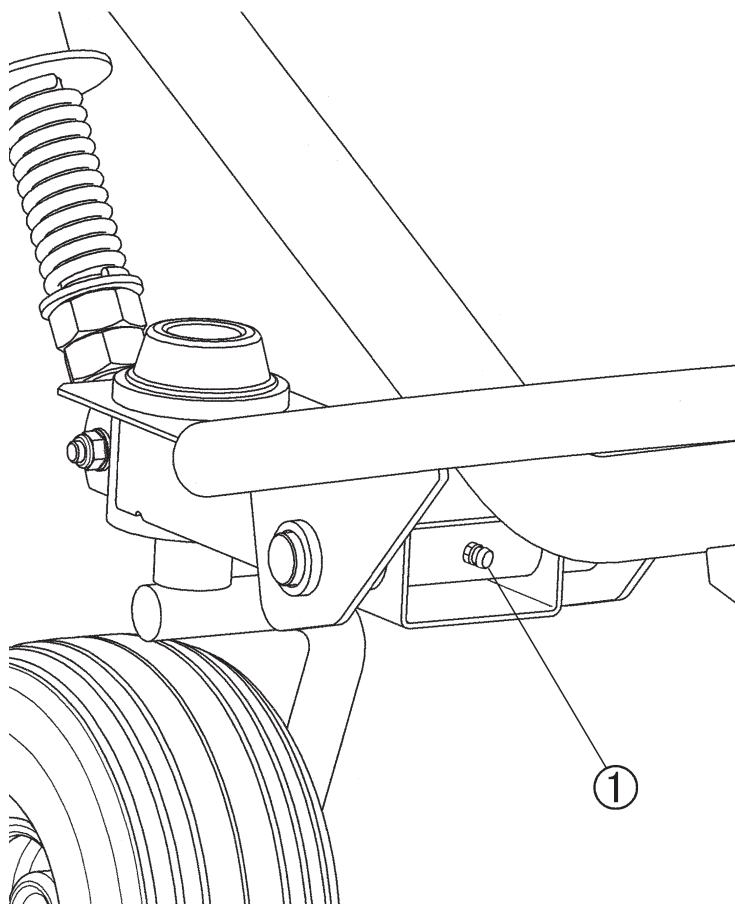
②の2ヶは、テーブルとのスキマ調整用

<サスペンション標準位置>



3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。
- 出荷時には、十分給油してありますが、使用前に確認してください。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	給油時間	備考
1	アクスルブラケット支点部	1	グリース	使用毎	グリースニップル付

2 作業の仕方

1 本製品の使用目的

1. 本製品はTBW22へ装着し、放出したベールを縦の状態に地面に置く装置です。
他の用途には使用しないでください。
2. 良質なサイレージを作るため雨降り時や濃霧状態で牧草水分が多くなる場合や、ぬかるみのある場所、湿気の高い場所では、作業を行わないでください。
3. フィルムの損傷を防ぐため、地面の突起（石など）は取り除いて作業を行ってください。
また、フィルムの巻き層は6層以上を推奨します。

2 作業のための調整

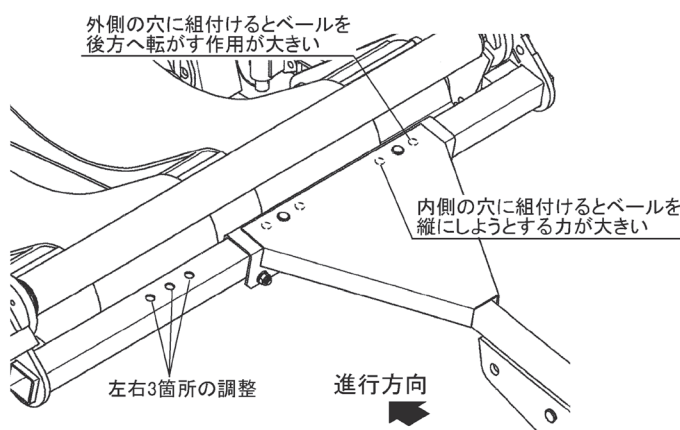
本製品はベール重量・形状等の状態に合わせて、各部を調整することにより、巻付けたフィルムの損傷を最小限に抑え、ベールを縦置き状態にすることができます。

1. ベールガイドの調整

ベールを放出して縦置きする方向を左右に切替えることができます。圃場の巡回方向により縦置きする方向を調整してください。

例) 左巡回の圃場・・・ベールガイドを左側に取付けてベールを右側に縦置きします。

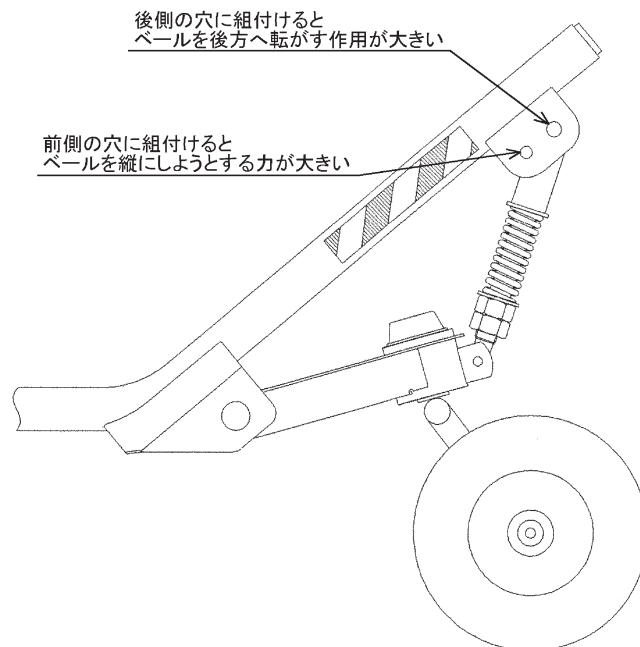
ベールガイド取付部に左右3箇所の調整穴があります。



※ 標準は中央の穴で使います。

2. サスペンションの調整

サスペンション取付部を前後方向に切替えることができます。



※ 標準は後側の穴で使います。

※ 圃場状態によっては、サスペンションを前側に組付けた場合、フィルム巻付け時にローテーションアームと縦置き装置が干渉する場合がありますので、そのときは、サスペンションを後方へ組付けてください。

3 作業状態・運搬状態の切替

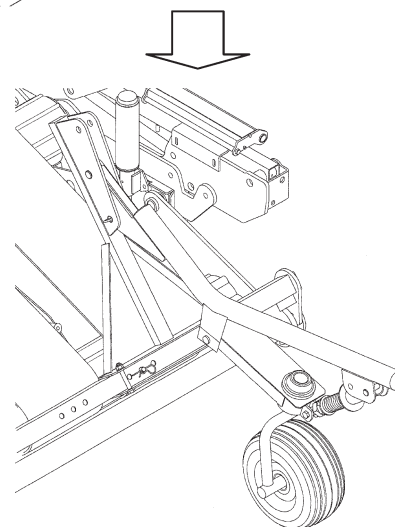
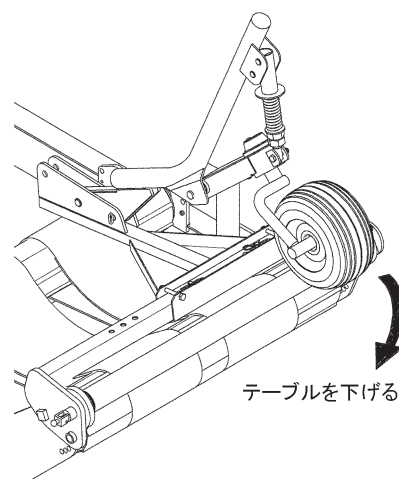
取扱い上の注意

作業姿勢や移動姿勢への切替時は、平坦な場所で行ってください。また、機体は、下げた状態で行ってください。

作業姿勢や移動姿勢への切替時に、テーブルを下げずに行うと、不意に倒れることがありますので切替作業時には、テーブルを下げた状態で行ってください。

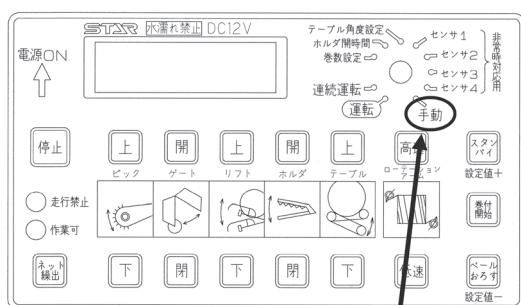
⚠ 注意

作業姿勢や移動姿勢への切替時に、ベールガイドの間に手を入れると挟まれ、ケガをすることがありますので、手を入れないでください。



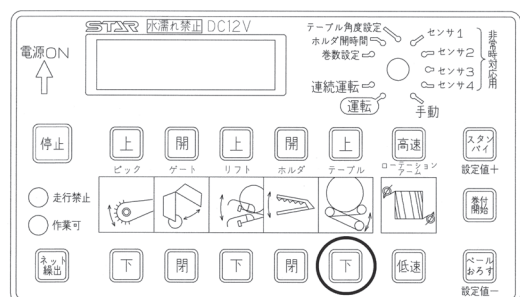
1. 移動状態から作業状態への切替

- ① コントロールボックスのダイヤルを『手動』に合わせP T Oを入れます。



手動に合わせる

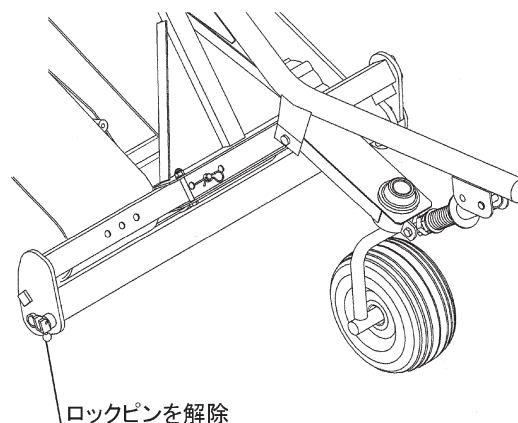
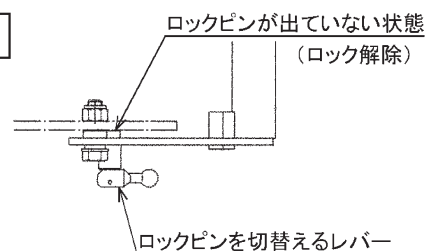
- ② シートスイッチの『テーブル 下』を押して、テーブルを下げます。



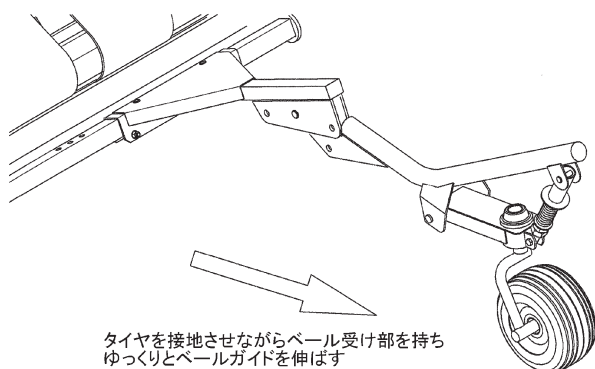
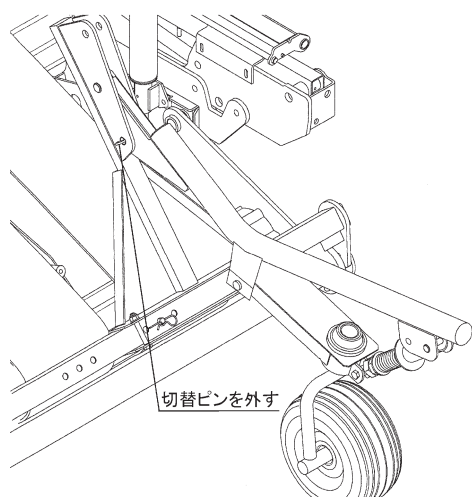
テーブルを下げる

- ③ ブラケットの左側にあるロックピンを解除して、縦置き装置を後方へ回動してタイヤを接地させます。

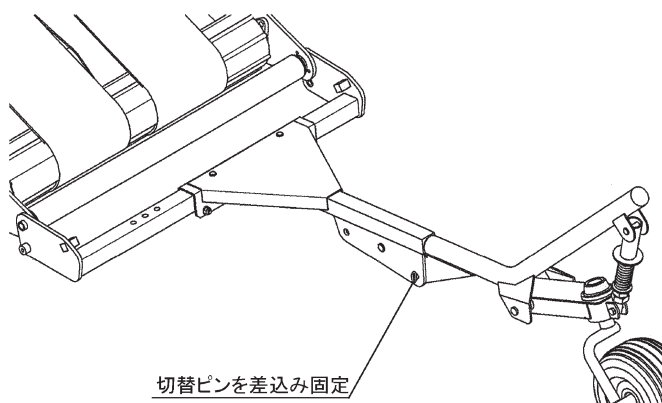
左側



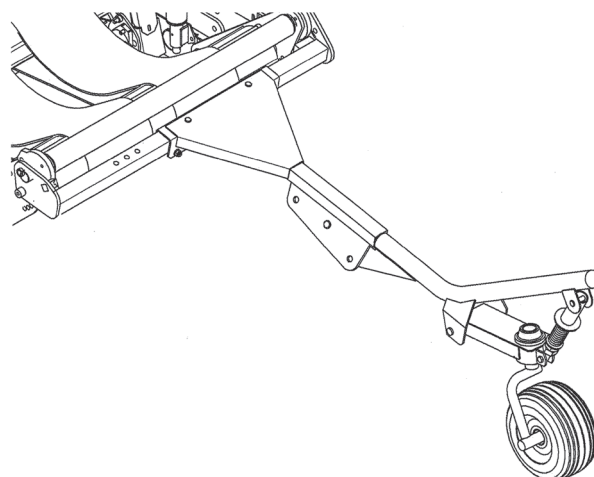
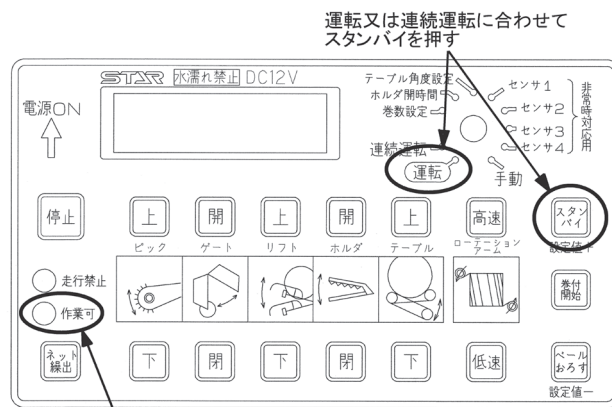
- ④ ベールガイドの切替ピンを外して、ベールガイドを後方へ伸ばします。



- ⑤ ベールガイドの切替ピンを作業位置側に差込み、リンチピンで抜け止めをします。

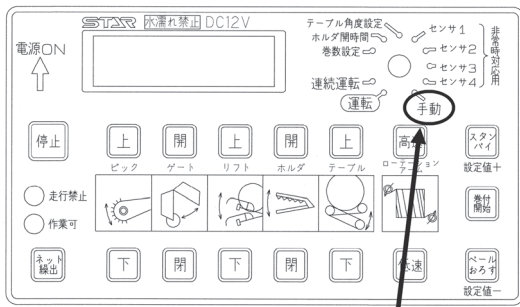


- ⑥ コントロールボックスのダイヤルを『運転』または『連続運転』に合わせ、『スタンバイ』を押します。ローテーションアームが回転し、テーブルが初期位置になり、『作業可』のLEDが点灯したのを確認して、作業を始めてください。



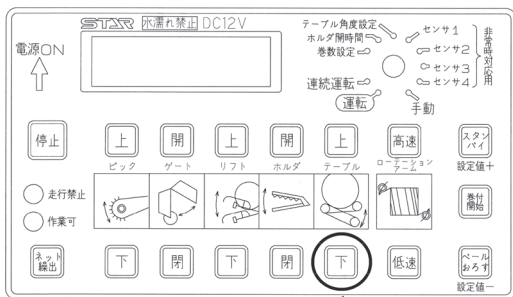
2. 作業状態から移動状態への切替

- ① コントロールボックスのダイヤルを『手動』に合わせP T Oを入れます。

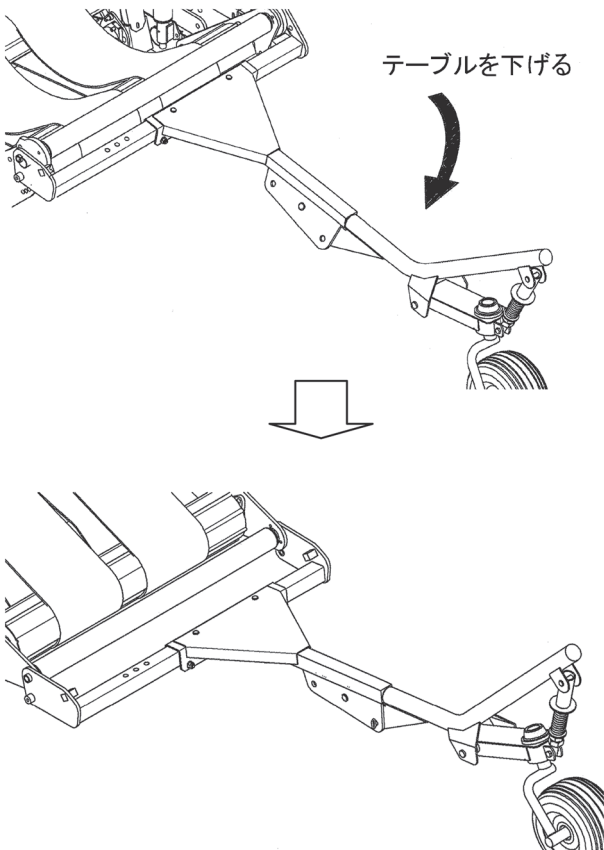


手動に合わせる

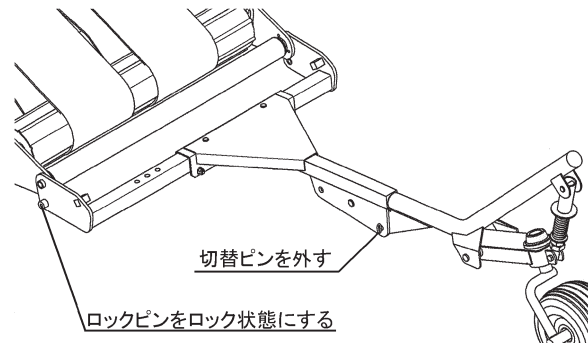
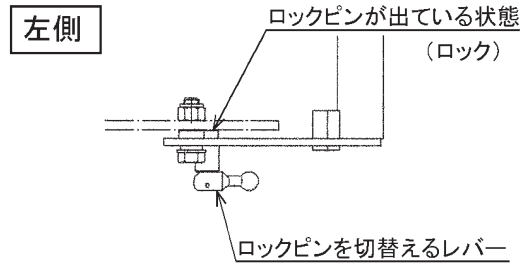
- ② シートスイッチの『テーブル 下』を押して、テーブルを下げます。



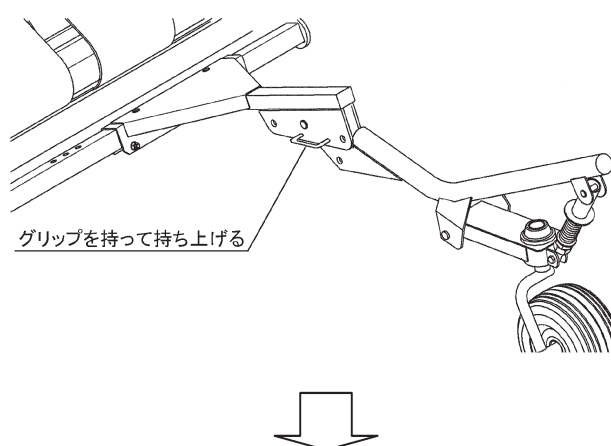
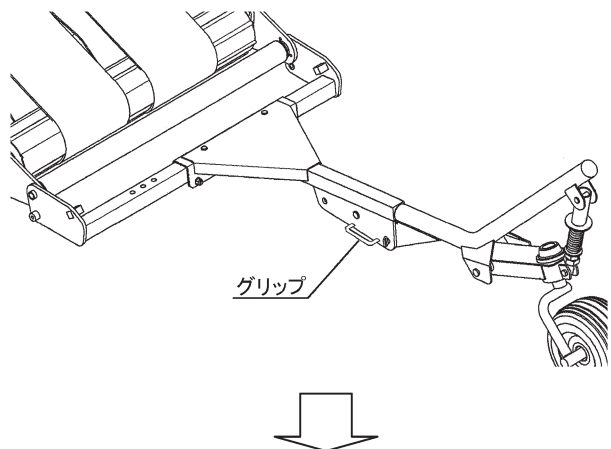
テーブルを下げる

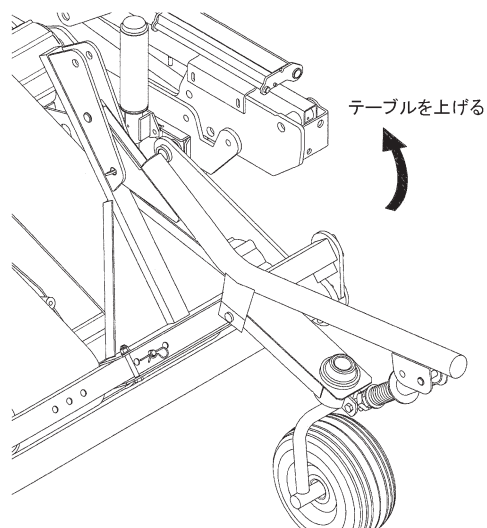
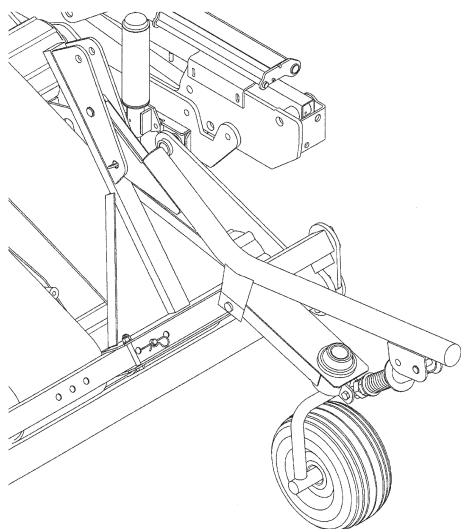


- ③ ブラケットの左側にあるロックピンをロック位置にして、ボールガイドの切替ピンを外します。

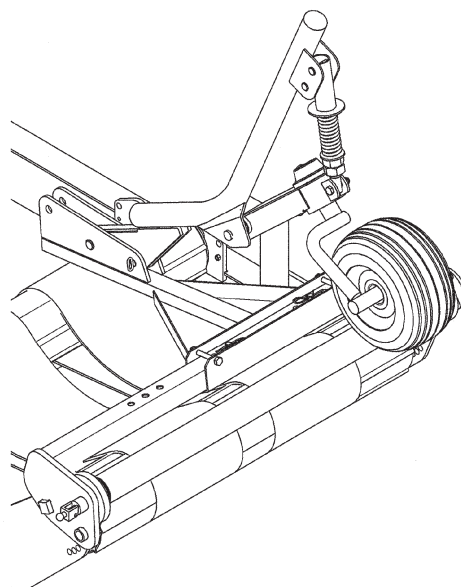
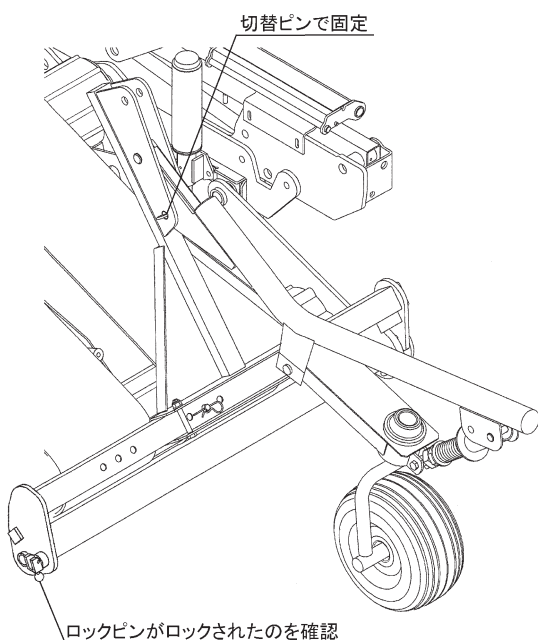


- ④ ベールガイド横のグリップを持って、ベールガイドを持ち上げます。

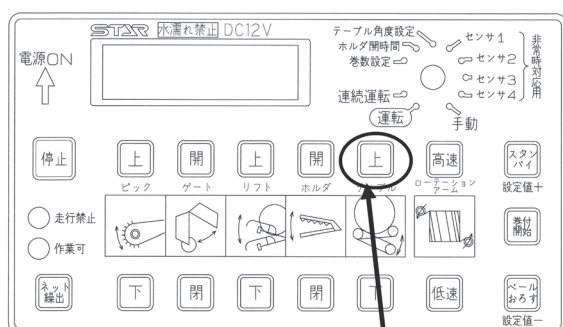




- ⑤ ロックピンがロックされたのを確認し、切替ピンを移動位置に差し込み、リンチピンで抜け止めをします。



- ⑥ シートスイッチの『テーブル 上』を押して、テーブルを上げます。



- ⑦ コントロールボックスのダイヤルを『運転』または『連続運転』に合わせ、『スタンバイ』を長押しします。ローテーションアームが回転し、ローテーションアームが機体幅内に収まっているのを確認し、移動してください。



3 点検と整備について

調子良く作業するために、定期的に行いましょう。
機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「3-1 点検整備一覧表」に基づき、各部の点検・整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

▲ 注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 点検整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

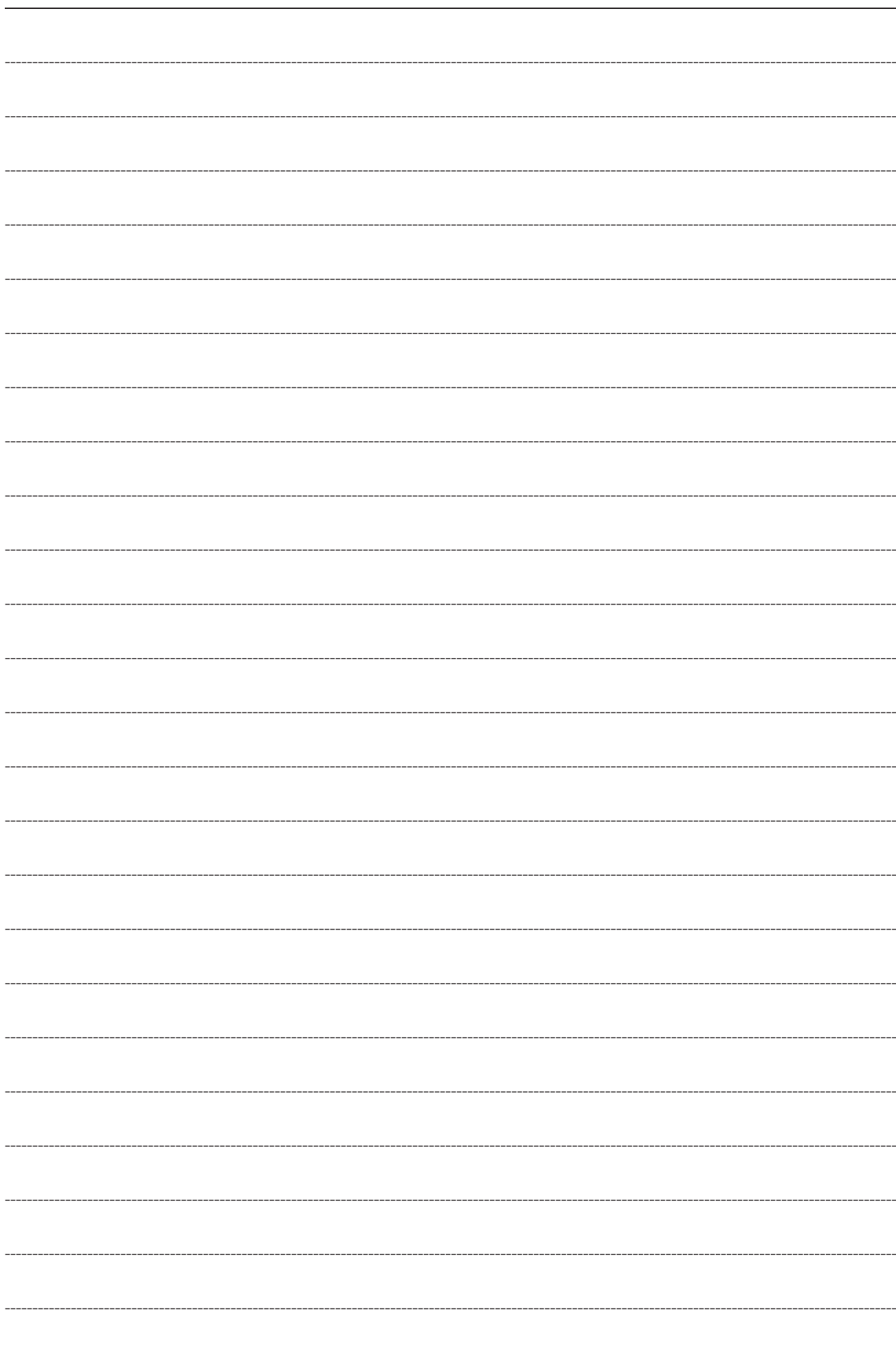
TBW22については、TBW22に付属している取扱説明書の「点検と整備について」の説明に基づきTBW22を点検してください。

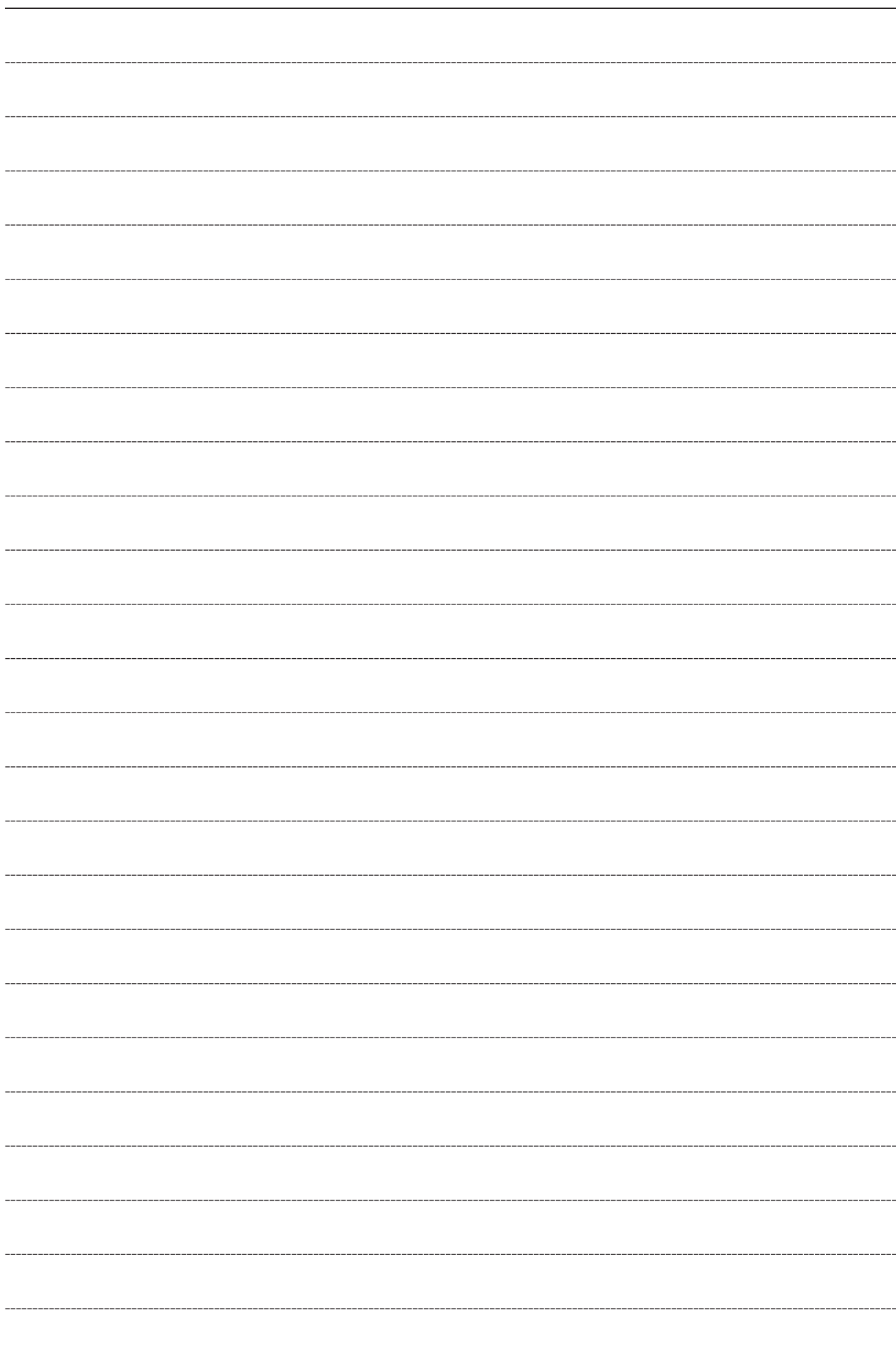
1 点検整備一覧表

時 間	チェック項目	処 置
使 用 毎	● 機械の清掃 ● ベール受け、タイヤの摩耗 ● 各部の損傷、部品脱落 ● スプリングの張り ● 各部のボルト・ナットの緩み ● 各部の給油	● 早めの部品交換 ● 部品交換、取り付け ● 「2-2 作業のための調整」に基づき調整 ● 増し締め ● 「1-3 給油箇所一覧表」に基づき給油
シーズン終了後	● 機械の清掃 ● ベール受け、タイヤの摩耗 ● 各部の損傷、部品脱落 ● スプリングの張り ● 各部のボルト・ナットの緩み ● 各部の給油 ● 塗装損傷部	● 早めの部品交換 ● 部品交換、取り付け ● 「2-2 作業のための調整」に基づき調整 ● 増し締め ● 「1-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 ● 塗装または油塗布

2 主要消耗品一覧表

区 分	No.	部 品 番 号	部 品 名 称	個数	備考
サスペンション	1	000509ASY	タイヤ ; 13 × 5.00 - 6 - 4PR	1	





調 整

S - 2 4 0 6 0 5 D

千 歳 本 社 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千 歳 営 業 所 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

豊 富 営 業 所 098-4100 天 塩 郡 豊 富 町 字 上 サ ロ ベ ッ 1 1 9 1 番 地 4 4
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯 広 営 業 所 080-2462 帯 広 市 西 2 2 条 北 1 丁 目 1 2 番 地 4
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中 標 津 営 業 所 086-1152 標 津 郡 中 標 津 町 北 町 2 丁 目 1 6 番 2
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花 巻 営 業 所 028-3172 岩 手 県 花 巻 市 石 鳥 谷 町 北 寺 林 第 1 1 地 割 1 2 0 番 3
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙 台 営 業 所 984-0032 宮 城 県 仙 台 市 若 林 区 荒 井 5 丁 目 2 1 - 1
TEL 022-353-6039
FAX 022-353-6040

小 山 営 業 所 323-0158 栃 木 県 小 山 市 梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

東 海 営 業 所 485-0081 愛 知 県 小 牧 市 横 内 字 立 野 6 7 8 - 1
TEL 0568-75-3561
FAX 0568-75-3563

岡 山 営 業 所 700-0973 岡 山 県 岡 山 市 北 区 下 中 野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊 本 営 業 所 861-8030 熊 本 県 熊 本 市 東 区 小 山 町 1 6 3 9 - 1
TEL 096-389-6650
FAX 096-389-6710

都 城 営 業 所 885-1202 宮 崎 県 都 城 市 高 城 町 穂 満 坊 1 0 0 3 - 2
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233